

今月のこの1冊

ボタンちゃん 小川 洋子 作 岡田 千晶 絵

ボタンちゃんはアンナちゃんのブラウスのいちばん上にとまっている女の子です。ある日、ボタンちゃんはブラウスからおちてしまいます。子どもべやをころがって、ついたばしょはおもちゃばこのうしろでした。すると、小さななきごえがきこえてきます。ボタンちゃんはいったいだれとであったのでしょうか……。この本は低学年の課題図書です。図書室にはこのほかの課題図書もあります。



【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30
土・日曜日 10:00～17:00
【休室日】毎週月曜日
※貸出冊数は4冊まで、期限は2週間です

新しく購入した図書(主なもの)

- 一般書 ●
 - ・向田理髪店 奥田英朗
 - ・葵の月 梶よう子
 - ・防諜捜査 今野敏
 - ・大岸壁 笹本稜平
 - ・若様とロマン 島中恵
 - ・硝子の太陽Rouge 蒼田哲也
 - ・ポイズンドーター・ホーリーマザー 湊かなえ
- 児童書 ●
 - ・よみがえれアイボ 今西乃子
 - ・シナモンのおやすみ日記 小手鞠るい
 - ・さきちゃんのくつ まるやまあやこ
 - ・つばめこうくう もとやすけいじ
 - ・このあとどうしちやおう ヨシタケシンスケ

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場
内容 「おばけちょうちん」をつくります
日時 7月2日(土) 10:00～
持ち物 はさみ・カラーペン
対象 5歳～(未就学児は保護者同伴)
場所 町民センター2階 中会議室B
申込み 直接図書室へ または、☎82-5221

◇おはなし会(第2土曜日、第3水曜日)
日時 7月9日(土) 13:00～
7月20日(水) 15:00～
場所 町民センター3階図書室
申込み 申込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう!

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にしています。

開成町のいまむかし<4>

この町に住んで100年目の方も、100日目の方も、皆さんで確かめる開成町の「いま」と「むかし」。このコーナーでは、12回にわたり、文化財保護委員とともに町のいまむかしをたどります。

☎ 教育総務課 ☎82-5221

開成町の駐在所

お巡りさんの始まりは、幕末に神奈川奉行所の役人が太鼓を打ち鳴らして、外国人居留地を巡回した「ドンドコ回り」です。明治初期の遷卒(捕まえる人)を経て明治7年からは巡査(見回る人)と呼ばれました。

明治19年、一郡一署制により足柄上警察署ができ、7年後には松田警察署となりました。現在、同署管内の開成町には延沢と吉田島に駐在所があります。しばしば場所を移してきました。

町内初の駐在所は西福寺に置かれた延沢駐在所(A1)で、酒田村が誕生した明治22年のことでした。吉田島駐在所は明治32年、矢倉沢街道沿いで下島の吉田島910番地(B1)に置かれました。その後、その10年後、延沢駐在所は昔の開成尋常小学校に近い延沢1636番地(A2)に移り、昭和6年には村役場や今の開成小学校近くの延沢628番地(A3)に移りました。吉田島駐在所も同じ頃、村役場や神社に近い上島の旧道沿い(B2)に移りました。高度経済成長期の昭和45年、新十文字橋や新県道が開通し、吉田島駐在所は上島の現在地(B3)に、延沢駐在所も町役場に近しい延沢の現在地(A4)に移りました。

このように町内の二つの駐在所は、役場や学校、主な道路の後を追うように移転してきました。駐在所は、現在も安全で安心な町づくりのために重要な役割を担っています。

文化財保護委員会 遠藤 将光

駐在所の場所の移り変わり

*文芸

開成俳句会 俳句 六月吟

よく晴れて待ちきれなくて海開き
控え目に他郷に住みし額の花
赤帽の元氣な点呼海開き
新茶汲み初給料の白茶碗
藤椅子や女優のごとく足組みて
造成の進む傍ら田を植うる
藤椅子に猫抱く母の仮寝す
海開き背に柔らかに潮香かな
自画像の真顔の亡兄や藤の椅子
海開き足裏を逃げる砂の粒

濱本 主雄
有賀 孝子
奥津ちわき
下澤 操子
瀬戸 悦子
遠藤シヅ子
遠藤マツエ
遠藤まつ子
遠藤美津子
選者吟

としび短歌会 短歌 五月詠

水色のがくあらしみの涼やかさ
「すみだの花火」の名にふきはしき 辻岡 洋子
額紫陽花のもつ涼やかな魅力を称えた歌。「水色」という独特な色彩表現による印象度と開花時の形状に基づく四句目のネーミングとが相俟って、読者にこの花のイメージをより膨らませている。

※額紫陽花(ユキシタ科)の落葉低木。アジサイの原種。高さ約1m。葉は対生し、卵形で厚い。六、七月頃枝先に大型の散房花序を付ける。その周囲に四、五枚の萼片から成る淡紫色の方形の装飾花があり、額紫に見立てる。がくはくぼみ。

新入生のボタンが光る 杉本シズ子
バス通学での高校生を詠み、季節感と状況を上の句で、それを受けての「ボタンが光る」は、新入生の洗練さ・バスの中での楽しさ等を言外に象徴している。作者の視点の鋭さが生み出した一首。

アルバムの母の視線は抱きあまる 吉田 志麻
乳飲児の吾に注ぎておはす

この短歌は、一読して写真における場面状況が分かり、何ら説明を要しない。まるで聖母子の名画を見ているようである。「おはす」の表現から母の慈愛に感謝と敬意を込めているのが読み取れる。

近藤 正臣 選

生き生きレポート

開成幼稚園 ☎82-4247

今年の4月から幼稚園教諭として開成幼稚園に勤務しています。

社会人1年目で、分からないことも多くありますが、毎日子どもたちと元気に楽しく過ごしています。

先日、子どもたちは、ひまわりやマリーゴールドの種まきをしました。芽が出たことを喜ぶ姿や、「大きくなあれ」と手を合わせ願っている姿が見られました。きれいな花が咲くのが今から楽しみです。

これからも子どもたちと一緒に様々な発見をしながら、私も教諭として成長していけるよう一生懸命頑張ります。

開成幼稚園教諭 田中 萌